

科目名	日常生活を支援する技術Ⅱ	対象学年・時期	1 年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1 単位・30 時間
授業概要	看護は具体的な看護実践活動を通して果たされるものであり、看護の目標を達成するために看護技術があることを理解する必要がある。日常生活を支援する技術では、看護の対象となる個人が、最適な健康を踏まえた日常生活が営めるようにするために、援助の必要性を考え対象に合った方法を具体的に考える必要がある。看護の実践ができるようになるために、暮らしの中の動作がどのようなからだの仕組みによってなされているかを知り、科学的根拠を考えながら援助の必要性を理解し、方法を考えられるようにする。また、援助を受ける対象を観察し、対象の気持ちを考えながら援助を行う必要がある。 ここでは人間の皮膚粘膜機能を高め、日常生活に爽快感、安楽、満足感を与えるためにも重要である「清潔」「衣生活」において、対象や場に応じた援助を根拠をに基づき実践できる知識、技術、態度を学ぶ。		
授業形態	講義、学内実習		
学習目標	1. 解剖生理学的な人間の身体的機能に基づいた援助の根拠が理解できる。 2. 対象における援助の必要性が理解できる。 3. 対象を観察しながら援助を行うことができる。 4. 安全・安楽・自立を基本とした援助が実施できる。 5. 演習での患者体験や看護師体験を通して看護師として必要な態度を身につけることができる。		
授業計画	1 回目：人間にとっての清潔の意義、皮膚の構造と機能 事前学修：皮膚の構造と機能 2 回目：入浴の目的・効果・方法 衣生活の意義 3 回目：気づきの演習（清潔・衣生活援助） 4 回目：部分浴の目的・足浴の目的・足浴デモンストレーション 5 回目：足浴学内実習 まとめ 6 回目：洗髪の方法 洗髪デモンストレーション 学内実習 7 回目：洗髪 学内実習 8 回目：洗髪 まとめ 9 回目：全身清拭・陰部洗浄デモンストレーション 学内実習 10 回目：全身清拭 学内実習 11 回目：全身清拭 学内実習 12 回目：口腔ケアデモンストレーション 学内実習 事前学修：口腔の構造と機能 口腔清拭の方法について 13 回目：寝衣交換 寝衣交換デモンストレーション 事前学習：関節可動域について 14 回目：寝衣交換 学内実習 15 回目：終講試験		
使用テキスト	・系統看護学講座専門分野 基礎看護学3 「基礎看護技術Ⅱ」第18版 任和子著 医学書院		
事前・事後学修	内容については「授業計画」を参照してください。 事前学修については、指定日まで各教員に提出してください。		

	放課後や休み時間を利用し、看護技術が習得できるまで積極的に練習を行いましょう。
評価基準および評価方法	筆記試験で評価する
備考	